

幕末維新墨蹟展覧会

～日本人・日本文化を知り、地域から歴史を創造!～

日時 平成28年8月13日(土)～21日(日) AM9:30～PM4:30

※8月16日(火)休館日

会場 サントミュージゼ 上田市立美術館 市民アトリエ・ギャラリー

入場料

前売り 500円、当日券 700円

※「真田丸」大河ドラマ館 或いは NHK真田丸企画展
入場半券ご提示の方は前売り料金で入場できます。

※高校生以下は無料



屏風獄中感有り

《大意》

朝には主君の寵愛を受けていても、夕方には指弾される。人生の浮き沈みは、夜と昼が代わる代わる巡ってくる。たとえ日光が射してこなくても向日葵は、ひとえに日射しをもとめていく。私も運命が開けてゆかなかったとしても、ひたすら心の誠を尽くすばかりだ。(以下略) 南洲



西郷隆盛

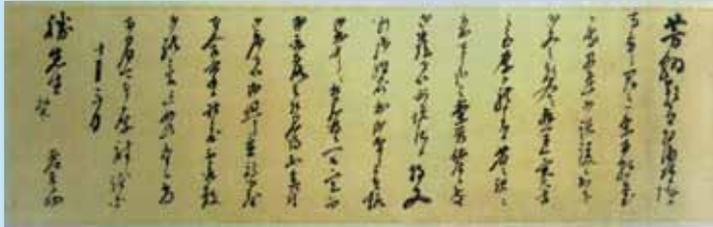


友情出展

欧州、アジア、アメリカ、カナダ等で多数受賞。

江戸の人情、粋を描く「江戸小唄画」の原画を出展

『小唄画』ジャンルの創設者
上田市在住
内久根嘉子氏作



《解説》

西郷と勝の交流がさわめて深かったことは知られているが西郷の勝宛書翰はこれまで僅か一通あるだけで、その点からも珍しい資料です。

書簡幅「勝海舟宛て書簡」



坂本龍馬



副島種臣

書幅

《読み下し》

孔子は仁を成せといひ、孟子は義を取れといふた一念にその義を尽くさば仁に至ることになる。聖賢の書を読み、学ぶ所は何事ぞ、而今而後(じこんじご)庶幾(こいねがわ)くは愧(はじ)無からん。



福沢諭吉

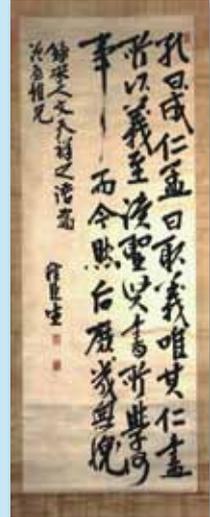
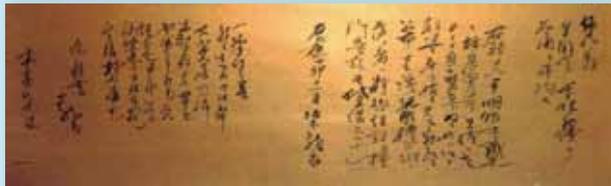
書幅

《大意》

世界は目まぐるしく日々変わりつつあり、広い視野で物事を見ると生活を豊にする英知が必ずある。(以下略)



木戸孝允宛て新政府綱領八策



(活文禪師自作木像)

活文禪師



(白田昌石氏作)

佐久間象山



(上田市立博物館蔵)

建白七策(簡略化)
前政治総裁に提出された意見書

- 1 上下二局の議事局開設
- 2 人材教育は大学小学校の設置
- 3 国中の人民皆平等
- 4 国中の貨幣統一
- 5 国防の海陸軍兵備
- 6 諸物製造局を諸所に造営
- 7 牛羊鶏豚養育と肉の常食

など具体的に目的や方法、数値を上げて国の行く末まで微に入り細に入り述べている。

レプリカ 寸寸3.22m

赤松 小三郎



吉田松陰



周布公輔論説稿本幅

長州藩政務役筆頭の位置にあった周布(すふ)公輔(政之助)は、椋梨藤太とともに藩政をリードしていた。吉田松陰の松下村塾生である高杉晋作ら尊攘派の良き理解者で、師父のように慕われていた。吉田松陰が周布公輔の論説を説いた「戊午幽室文稿」原稿の草稿(下書き)であり、吉田松陰を知る上で貴重な資料です。

主催：幕末維新墨跡展覧会実行委員会

チケット取扱 イープラス、平安堂上田店、平安堂 上田しおだ野店、平林堂書店

実行委員長 中村英三 事務局長 山本益郎 (連絡先/090-3335-9451 E-mail: yamamoto@bonanet.jp)

後援：上田市、東御市、長和町、青木村、坂城町、上田市教育委員会、上田商工会議所、一般社団法人上田法人会、しなの鉄道株式会社、上田電鉄株式会社、信濃毎日新聞社、信州民報、東信ジャーナル社、週刊上田新聞社、上田ケーブルビジョン、東京上田会、塩田平文化財研究所、塩田平文化財保護協会、塩田郷土史研究会、塩田の歴史・文化を学ぶ集い、安楽寺、さくら国際高等学校、上田市ホテル協会、別所温泉観光協会、別所温泉旅館組合、鹿教湯温泉旅館組合・観光協会、上田郷友会、上田市倫理法人会、NPO法人日本祭礼文化の会、東郷堂、赤松小三郎顕彰会、NBS長野放送、SBC信越放送、長野大学、上田小県近現代史研究会(順不同)／賛助金提供者：立礼席百余亭・茶室香庵、東京上田会有志、上田法人会有志

幕末維新墨跡展覧会の最新情報▶ <http://bakumatsu-bokuseki.seesaa.net>でご覧になれます。